

「その他の行事」

博物館講座

表具入門、古文書講座。毎年実施していますが、それぞれ人気のある講座です。表具は拓本をもとに、掛軸に仕上げるものです。古文書講座は、実際に区内旧家にあったものを教材に使い、学びます。費用3,000円。広報で募集します。(往復葉書申込)

年中行事の展示

①端午の節句展②七夕まつり③お月見④マユダマ⑤おひなさま展を、それぞれ一週間前後の期間、昔からの伝統にしたがい古民家(かやぶき屋根の家)で飾りつけ、展示します。無料、自由見学。公開期間は広報でお知らせします。



郷土資料館「ゆとり教室」

冬季を除き、毎月2~3回土曜日に大人から子供まで楽しめる催しを行います。手作り伝統おもちゃ教室、手作り考古学(勾玉作り)、和紙折り紙教室などです。大人200円、小~高校生100円。広報で募集します。



赤塚ふるさと事業

赤塚地域に伝わる風習を取り入れた行事を実施します。七夕の「マコモ馬」作り、わら細工などです。実費相当分負担。広報で募集します。

武者行列・西洋流砲術古武道演武

西洋流火術鉄砲隊保存会による、高島秋帆の徳丸原洋式訓練を再現します。赤塚梅まつり期間中実施(3月)



館のご案内

開館時間 9:30~17:00

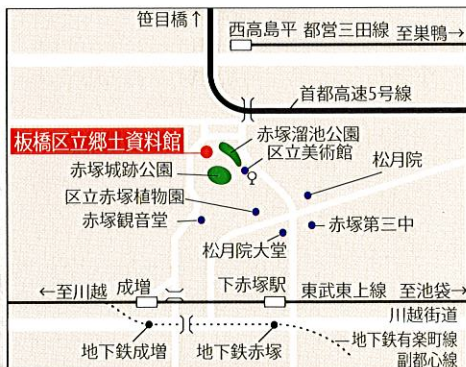
休館日 月曜(祝日の場合、翌日) 年末・年始

交通

- ◆都営三田線西高島平駅下車 徒歩13分
- ◆東武東上線下赤塚駅・成増駅下車 徒歩23分
- ◆東武東上線成増駅下車 北口より2番バス乗場から国際興業バス(高島平操車行き美術館経由)にて 区立美術館下車徒歩1分
- ◆都営三田線高島平駅下車 西口2番バス乗場から国際興業バス(成増行き美術館経由) 区立美術館下車徒歩1分
- ◆タクシーご利用の場合は、都営三田線高島平駅西口又は東武東上線成増駅北口より各5分

国際興業バス発車予定時刻表

停留所 高島平駅			系統	増17	停留所 成増駅北口			系統	増17		
行先	平日	土曜	日祝	行先	平日	土曜	日祝	行先	平日	土曜	日祝
区立美術館経由 成増駅北口	21 46	25 56	30 56	北山下橋・区立美術館経由 高島平操車場	8 09 29 50	15 28	17 50	区立美術館	13 53	13 53	13 53
	13 53	13 37	18 32 53		9 17 45	00 27 45	23 47		13 53	13 53	13 53
	13 53	13 53	13 53		10 25 45	25 45	25 45		13 53	13 53	13 53
	13 53	13 53	13 53		11 25 45	25 45	25 45		13 53	13 53	13 53
	13 53	13 53	13 53		12 25 45	25 45	25 45		13 53	13 53	13 53
	13 53	13 53	13 53		13 25 45	25 45	25 45		13 53	13 53	13 53
	13 53	13 53	13 53		14 25 45	25 45	25 45		13 53	13 53	13 53
	13 53	13 53	13 53		15 25 45	25 45	25 45		13 53	13 53	13 53
	13 43	13 53	13 53		16 11 23 47	12 27 52	12 27 52				



板橋区立郷土資料館

〒175-0092 東京都板橋区赤塚5丁目35番25号
TEL.03-5998-0081
<http://www.city.itabashi.tokyo.jp/kyoudo/>

平成22年度 展示案内

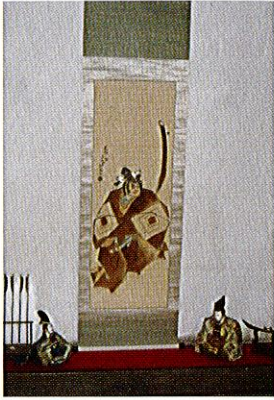


板橋区立郷土資料館

「板橋小町」
敷内佐斗司作

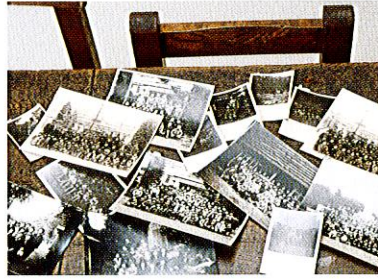
収蔵品展 平成22年4月17日(土)～6月20日(日)
「いたばし四季折々 2F企画・展示室 無料
 ～年中行事をとおしてみる板橋の民俗～」

区内には国の重要無形民俗文化財としても有名な『田遊び』を始め数々の民俗行事が存在する。郷土資料館では毎年古民家年中行事の一環として、1月のマユダマから秋のお月見まで季節ごとの展示を通して、板橋のイエとしての年中行事を紹介してきた。本展示では、資料館のある赤塚、徳丸といったかつての農村部のイエと、地域社会であるムラの年中行事を中心に板橋という地域を見る機会としたい。



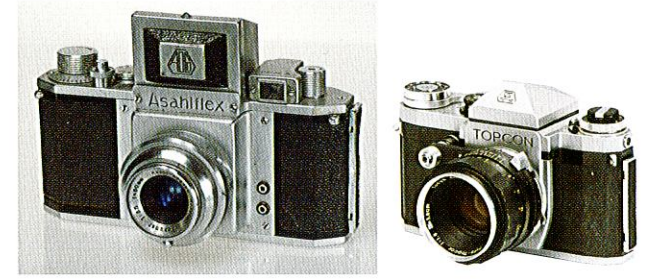
企画展I 平成22年7月17日(土)～9月26日(日)
「戦後65年 2F企画・展示室 無料
 ～板橋の戦争と銃後～」

郷土資料館では戦後50年、60年の節目に平和関係の展示を開催してきました。今回の展示では新たに寄贈を受けた資料を中心に、戦前・戦中・戦後の板橋に関する社会風俗・歴史資料を中心とした平和関係資料展を開催します。戦時中の空襲被害写真を撮影した石川光陽の板橋関係写真や、戦時中の物資不足のうちに金属に代わって代用された陶磁器等を初公開します。学童疎開写真も展示します。



特別展 平成22年10月9日(土)～11月28日(日)
「板橋と光学 Vol.2」2F企画・展示室 有料

国産の一眼レフカメラは旭光学、後のペンタックス株式会社が日本で初めて板橋区内で製造・販売しました。板橋区内で生産された製品を中心とする一眼レフカメラを中心に、そのあゆみと、光学製品の現在と未来を展望します。



2010

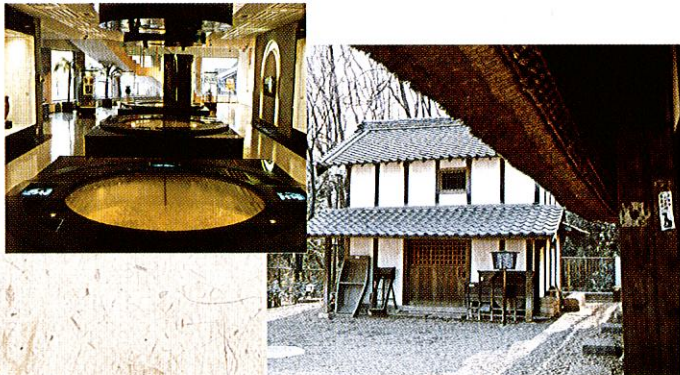
2011



常設展示

1F展示室 無料

シンボル展示・導入展示のほかテーマを三つに分けて(生きる・暮らす・戦う)、旧石器時代から現代にいたるまでの板橋区の移り変わりを展示しています。展示替えは、随時行っています。



通年(特別展の期間、閉鎖する場合があります)

企画展II 平成22年12月18日(土)～平成23年1月30日(日)

「第12回板橋区伝統工芸展 回顧展
 ～仏師舟谷喜雲、小紋染め師小林茂徳、彫金師田中照行の世界～」

2F企画・展示室 無料

区内には、これまでの伝統工芸展で紹介してきたように多くの伝統的技術保持者がいる。今回の展示ではその中から、いずれも板橋区の無形文化財として登録されながら、惜しくも亡くなられた仏師の舟谷喜雲氏、小紋染め師の小林茂徳氏、彫金師の田中照行氏の3名の回顧展を開催し、その卓越した技と業績をあらためてみる機会としたい。



企画展III 平成23年2月11日(金)～3月21日(月)

「しむら」 2F企画・展示室 無料

当館が立地している赤塚地域、宿場町のあった板橋地域の歴史については過去の展示で紹介してきました。今回の展示では両地域を結ぶ地域となる志村地域の歴史についての展示を行います。すでに知られている中世・近世の史・資料はもとより、近世初期の志村を所領とした大名板倉勝重関係資料、近現代の資料を展示することにより、志村地域の歴史を紹介します。

